

地域トピックス

◆身近に手軽にリサイクル(松崎町)

松崎町地域婦人団体協議会(菊池美千代会長)は7月14日、松崎地区センターで古着などを再生してウエス作りを行いました。

参加者が持ち寄ったシャツやタオルなどをティッシュペーパー1枚分ほどの大きさに裁断し、約2,000枚を作成。菊池会長は「リサイクルは身近な物で、簡単にできるものですね」と話していました。今回作成したウエスは、市社会福祉協議会に寄贈され、市内の各施設で介護用に活用される予定です。



持ち寄った古切れを均一な大きさに裁断する参加者

◆体力づくりで生き生きと(上郷町)

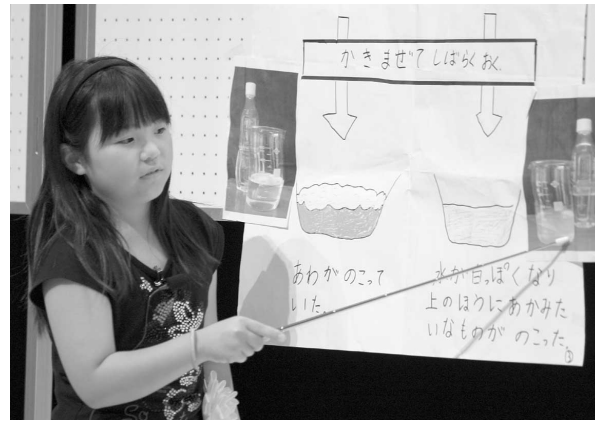
上郷町センニンスポーツクラブ(佐藤友美会長)は、健康・体力づくり事業財団から県唯一の指定を受け、毎週火曜日の午後、シニア体力アップ講座を開催しています。

7月のテーマは「ストレッチ」。この日は、ストレッチの効果などを学習した後、簡単にできるストレッチを実践しました。

この講座では、毎月テーマを決めて中・高齢者の体力づくりに取り組んでいます。いつでも、どなたでも参加できます。



手と足を同時に動かし、脳を活性化するトレーニングを行う参加者



軟水と硬水の違いを発表する佐々木萌衣さん(鱒沢小4年)

◆身近な環境問題を考える

明日の遠野の環境を考えるフォーラム2006(環境フロンティア遠野主催)は七月八日、みやもりホールで開催され、市民ら約二百人が身近な環境問題に対する意識を高めました。

県地球温暖化防止活動推進員の菅原三郎さんが「みんなの地球、みんなで守ろう」と題して講演。「百年後も素晴らしい遠野であるために、一人一人が環境問題に真剣に取り組んでほしい」と呼び掛けました。

講演の後には、市内の小中学校の児童・生徒らが、身近な自然などを題材にした研究成果を披露しました。



子どもたちに世界各国の音楽を披露する市内外の音楽家の皆さん

◆音楽で巡る世界一周の旅

「音楽でめぐる世界の旅お楽しみコンサート」は七月四日、みやもりホールで開催され、宮守・達曾部・鱒沢小学校の児童百五十六人が音楽で巡る世界旅行を満喫しました。

このコンサートは、みやもりホールの落成を記念し、子どもたちに生の音楽を聴かせようと千葉教子さんが企画。伊禮しおりさん(早瀬町)、新田ちよ子さん(東館町)、中楯有起さん(釜石市)、佐々木洋子さん(釜石市)が出演し、クラシックや童謡、アニメソングなど全十五曲を披露しました。

阿部将徳君(達曾部小五年)は「初めて聞く曲ばかりで、楽しかったです」と笑顔を見せていました。

◆一流の演奏を間近で体感

マリオ・ブルネロ&紀尾井シンフォニーエッタ東京遠野市公演は七月九日、市民センター大ホールで開催され、約六百人の観客は情熱あふれる演奏を堪能しました。

公演前には、紀尾井シンフォニーエッタ東京のメンバーが、市内の中学校と高校の吹奏楽部員を対象に音楽クリニックを実施。佐々木史織里さん(緑峰高校二年)は「音の出し方など、とても勉強になりました」と話していました。

この公演は、昨年、氷川御祝保存会が、東京夏の音楽祭2005に出演したことが縁で実現。財団法人地域創造の協力を得て開かれました。



講師の指導を熱心に聞く市内中学校と高校の吹奏楽部の生徒たち



息の合った素晴らしい演奏を披露した紀尾井シンフォニーエッタ東京の皆さんと指揮者のマリオ・ブルネロさん

◆馬との触れ合いを楽しむ

寺沢高原まつりは七月二十三日、同高原で開催され、大勢の家族連れなどでにぎわいました。

開会式で実行委員長の菊池茂勝さんが「馬も人間もけがのないように楽しませよう」とあいさつ。広大な草原を舞台に来場者は、ホーストレッキングや乗馬体験などで馬との触れ合いを楽しみました。また、三つのポイントを回る速さを競うパレル競技では、人馬一体となった迫力あるレースに観衆から歓声が上がっていました。

家族で訪れた北湯口史玖君(遠野北小一年)は「初めて馬車に乗って、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。



乗馬愛好者らが約70頭の馬にまたがり出発したホーストレッキング

◆スポーツ大会でさわやかな汗



楽しみながらさわやかな汗を流す参加者

第1回さわやかスポーツ大会は7月19日、運動公園陸上競技場で開催され、各町から60歳以上の市民約600人が参加し、ボール送りや玉入れなど12種目で心地よい汗を流しました。県大会出場への予選を兼ねた100m競走など6種目で好成績を収めた選手は、9月2日に盛岡市で開催される県大会に市代表として出場します。大会結果は次の通り。

- 優勝 青笹町=70点
- 準優勝 土淵町=49点
- 第3位 上郷町=49点(2位と3位が同点のため、各競技の入賞数により順位を決定)